

新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について

1 追加接種(3回目接種)の状況について

(1) 接種状況 (令和4年4月11日現在)

| 区分 | 接種対象者 | 3回目接種者数 | |
|---------|----------|----------|-------|
| | | 人数 | 割合 |
| 65歳以上 | 43,633人 | 37,170人 | 85.2% |
| 12歳～64歳 | 158,593人 | 78,476人 | 49.5% |
| 合計 | 202,226人 | 115,646人 | 57.2% |

※ 接種者数は、国のワクチン接種記録システム（VRS）から取得した速報値。

※ 接種対象者は、令和4年1月1日現在の人口統計資料「年齢（各歳）別及び男女別人口（住民基本台帳）」を参考値として使用。

(2) 追加接種(3回目接種)の対象拡大

令和4年3月25日付厚生労働省発健0325第4号「「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について」により、追加接種（3回目接種）の対象者が18歳以上から12歳以上に拡大となったことを受け、当該対象の区民に対して追加接種を4月より開始。

ア 追加接種（3回目接種）の対象者数

2回目接種を完了した12歳以上17歳以下の方、約7,400人(令和4年4月1日時点)

イ 接種券の発送

令和4年4月4日に約6,800件※を発送。今後、各接種対象者の接種時期の1月前に接種券を順次発送。

※ 令和3年11月までに2回目接種を終え、令和4年4月、5月が3回目の接種時期となる方

ウ 使用ワクチン

ファイザー社製ワクチン

エ 接種会場

集団接種会場3か所（文京シビックセンター25階、音羽地域活動センター、文京総合体育館）及び個別接種会場115か所（区内指定医療機関）

(3) TOKYO ワクチンバスの実施

都が実施するTOKYO ワクチンバスを活用し、区内障害者施設において追加接種（3回目接種）を実施。

| 実施施設 | 実施日時 | 使用ワクチン | 接種者数 |
|-------------|-----------|---------------|------|
| ワークショップやまどり | 令和4年3月18日 | 武田／モデルナ社製ワクチン | 13名 |

2 小児の接種について

小児（5歳以上11歳以下）を対象とした新型コロナワクチン接種が、予防接種法上の特例臨時接種に位置付けられたことを受け、小児を対象とした接種を実施。

なお、現時点において、オミクロン株に対するエビデンスが確定的でないことも踏まえ、小児について努力義務の規定は適用されていない。

(1) 接種対象者数

約14,000人

※ 令和4年1月1日現在の人口統計資料「年齢（各歳）別及び男女別人口（住民基本台帳）による。

(2) 接種券の発送

令和4年2月に対象者へ接種券を一括発送。今後、新たに5歳を迎える方に対し、誕生日の前月上旬を目途に順次発送。

(3) 使用ワクチン

小児用ファイザー社製ワクチン

※ 12歳以上用のファイザー社製ワクチンと比較し、有効成分の量が3分の1。

(4) 接種回数及び間隔

1回目の接種から3週間の間隔をあけて合計2回接種

(5) 接種会場

集団接種会場3か所（保健サービスセンター、保健サービスセンター本郷支所、大原地域活動センター）及び個別接種会場23か所（区内指定医療機関）。

※ 接種にあたっては、保護者の同意及び接種当日の同伴が必須。

(6) 接種開始日

ア 集団接種会場 令和4年3月12日より順次実施

イ 個別接種会場 令和4年3月5日より順次実施

3 追加接種(4回目接種)の体制確保について

令和4年3月25日付事務連絡「新型コロナワクチン追加接種（4回目接種）の体制確保について」により、4回目接種の実施については厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（以下「分科会」という。）で引き続き審議するものの、分科会の議論を踏まえ、4回目接種が予防接種法に基づく予防接種に位置付けられた場合に、速やかかつ円滑に接種を開始するため、各自治体に対し、3回目接種を受けた全ての者が対象となることも想定し、5月末頃までに接種券の発送や会場手配等の準備を進めることが示されている。

4 武田社ワクチン(ノバボックス)の接種体制の構築等について

令和4年4月6日付事務連絡「武田社ワクチン(ノバボックス)の接種体制の構築等について」において、武田社ワクチン(ノバボックス)を用いた接種が予防接種法に基づく予防接種として位置付けられた場合に、接種体制の構築に当たり留意すべき事項及び各都道府県への供給について通知があった。

(1) 基本的な考え方

18歳以上の全ての者を対象に、初回接種として、通常3～4週間の間隔において毎回0.5mLを2回。

追加接種として、2回目接種後、一定の間隔において1回の接種を想定。なお、追加接種としては、初回接種で用いたワクチンの種類にかかわらず、武田社ワクチン(ノバボックス)を使用することが想定される。

早ければ、令和4年5月以降、接種が開始できるようになることも考えられる。

(2) ワクチンの供給について

第1クール及び第2クールについて、全国で約10万回分のワクチンを配分予定であり、都の配分は1,169箱(11,690回分：1箱1バイアル、1バイアル10回接種として換算)を予定している。

5 新型コロナウイルス感染症予防接種証明書

令和3年12月20日より、海外渡航向け証明書の電子交付と合わせ、新たに国内利用向け証明書の電子交付及び紙交付を開始。

(1) 交付実績

令和3年12月20日から令和4年4月6日まで

総交付実績 24,824件(電子交付件数22,899件、紙交付件数1,925件)